

## 【理念】

主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、安心・信頼・満足の得られる医療・ケアの包括的なサービス提供を行います。

## 【基本方針】

●高度な専門知識と技術の向上に努め、良質で安全な科学的根拠に基づいた医療を、十分な説明と納得の上で提供します。

●地域の医療、保健、療育、福祉、教育機関との機能分担・連携を図ります。

●小児の医療、保健、療育、福祉にたずさわる専門家の育成、学生教育への協力および臨床研究を通じて、県下の小児保健医療の発展と向上に貢献します。

●県立病院の使命としての政策医療を推進します。

## 診療科等のご案内

### ◆ 診療科目

小児科（総合内科・神経内科・アレルギー科）  
こころの診療科（精神科）、整形外科、小児外科、眼科  
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

### ◆ その他の外来

予防接種、肥満、発達障害、ダウン症  
臨床遺伝カウンセリング

- 内科系：頭痛、心臓内科、腎臓内科、内分泌・代謝科、血液・リウマチ科
- 外科系：泌尿器科、脳神経外科、形成外科

### ◆ 病床数 100床

## ご利用案内

### ◆ 外来診療

- 小児科（総合内科）を除き、原則として予約制です。
- 診療時間 午前 9時00分～午後 5時00分
- 予約受付時間 午前 8時30分～午後 5時00分
- 休診日 土・日・祝日・年末年始

### ◆ 初診時の注意点

- 0～18才未満の方を対象としています。

### ◆ 初診時に持参いただくもの

- 保険証（国保・協会健保・共済等）：受診時毎月提示してください。
- 母子健康手帳（乳幼児の場合・こころの診療科受診の場合）
- 医療券（公費負担をご利用の場合）

★予約直通電話：077-582-8425★

小児科（総合内科）は予約なしで受診していただけます。  
診療受付は午前11時30分（月～金）までです。

## 地域医療連携室ご利用案内

- 受付時間 月曜日～金曜日  
午前9時00分～午後4時30分  
（土、日、祝日、年末年始は除く）
- 直通電話 077-582-6222
- FAX番号 077-582-6276



滋賀県立小児保健医療センター（編集発行）

〒524-0022 滋賀県守山市守山五丁目7番30号

Tel: 077-582-6200

Fax: 077-582-6304

HP: <http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/index.html>



## ルシネルセン（スピラザ）について

脊髄性筋萎縮症（SMA）という稀な神経筋疾患があります。運動神経細胞の病変により、筋力低下や、筋の痩せが悪化していく病気です。生後半年までに発症するⅠ型（重症型）は、お座りをすることができず、食事を上手く飲み込めず、人工呼吸器を使わないと95%は18カ月までに死亡します。Ⅱ型（中間型）は乳幼児期に発症し、自力で立つことができません。これまでは根本的な治療法が無く、経管栄養や人工呼吸器を用いた呼吸管理、リハビリテーションなどの対症療法が治療の中心でした。

2016年に新しい治療薬として疾患に関係するタンパク質をつくるRNAを標的とするアンチセンス核酸医薬であるルシネルセン（スピラザ®）が米国で開発され、その後日本でも製造販売が承認されました。臨床試験では、乳児型（主にⅠ型）のSMA患者さんは、運動機能が改善したり、自力で呼吸する力が保たれた患者さんが多いことが示されました。乳児型以外のSMA患者さんにおいても、運動機能が改善したことが示されています。

この画期的な治療法に当院も取り組んでいます。新しい治療法であり、患者さんや家族が感じる変化、医師や看護師の観察、理学療法士の運動評価などを通して、効果や副作用を詳細に評価していく必要があります。当院では、複数の職種が連携・協力しながら、患者さんや家族の生活の質が向上することを期待して、治療や評価を行っています。スピラザ®治療に関して詳しく知りたい方は、当院小児神経外来を受診して下さい。



## 最近小児にも適応が拡大された 舌下免疫療法ってどんなものですか？

そもそも免疫療法とは、アレルギーの原因であるアレルゲン（ダニやスギなど）を少量から投与することで体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を和らげる治療法です。以前は注射薬による皮下投与が多かったですが、より簡便で負担の少ない方法として、スギ花粉症やダニ通年性アレルギー性鼻炎に対して各々スギ抗原、ダニ抗原を舌下に投与する舌下免疫療法が行われるようになりました。当初の適応年齢は12歳以上でしたが、最近12歳未満へと対象が広がり、小児への効果が期待されています。

投与方法は、アレルゲンを含む治療薬を舌の下で1～2分間保持した後に飲み込む、というものです。皮下投与と違って注射の痛みがなく、自宅で服用できます。他の薬物療法が対症療法であるのとは比べ、免疫療法はアレルギー症状を根本的に治したり、長期にわたって症状を抑えてくれる可能性のある治療法です。副反応の多くは、口の中や喉の違和感、むくみなど軽いもので、治療開始後に一時的に起こることがほとんどです。ただし、治療期間は長期間(3～5年)になるので根気が必要です。また、すべての患者さんに効果が期待できるわけではありません。

当科では根治に結びつく可能性のある舌下免疫療法に積極的に取り組んでいます。興味のある方はアレルギー外来を受診してご相談下さい。



アレルギー外来では舌下免疫療法の各種薬剤について、詳しい説明資料を揃えています。

## NICU 後方支援事業

滋賀県では、NICU に長期入院している子どもの在宅療養への円滑な移行と、NICU 等の満床の解消を図ることを目的に、在宅療養への中間施設として NICU 後方支援施設を設置しています。当院は平成 25 年度に委託を受け、4 床が対象となっています。

長期入院している子どもが在宅での生活を始めるためには、子どもの状態が安定していること、NICU の高度な医療から家族のライフスタイルを考慮したシンプルなケアになっていることが必要です。当院は、高度な医療的ケアが必要な患者さんが多く通院されており、長年、在宅療養に対する支援を行っています。そこで培ってきたノウハウを活かし、医師、看護師、臨床工学技士、リハビリ、ソーシャルワーカーなどのスタッフが知識や経験、知恵を出し合い、ご家族へのケア指導や、医療物品の調整、人工呼吸器などを搭載して移動できるバギーの作製、ご自宅の環境調整、各種手続きなど、さまざまな準備を進めています。

また、初めての在宅での生活にむけて、ご家族に生じる戸惑いや不安、喜びなどの気持ちの変化に寄り添いながら支援することを大切にしています。

退院後の生活をサポートするため、地域関係機関（病院、診療所、訪問看護ステーション、行政、園・学校、相談支援事業所等）とも連携を行っています。



## こんにちは、療育部です♪

「せんせいとおともだち♪せんせいとおともだち♪」今日もお部屋から元気な声が聞こえてきます。

当センター療育部は、児童福祉法に基づく児童発達支援センターです。療育部には就学までの乳幼児期の運動発達や知的発達に重度の障害がある子どもたちが、お家の方と一緒に通園しています。注入栄養や呼吸器管理などの医療面の対応が必要な子どもたちも通園できます。

子どもたちの障害特性に合わせたグループ保育、専門スタッフによる個別リハビリや相談支援、ご家族対象の研修等を行っています。子どもたちが地域で家族と共に、豊かな生活が送れるように多職種が連携し、総合療育を実施しています。

「今日のお遊びは何か？」「リハビリ頑張ろう！」「おいしい給食楽しみ！」。子どもたちの毎日は、わくわく・ドキドキです。春と秋の遠足・夏の集い・親子レクリエーション・クリスマス会・新春の集い、などなど楽しい行事もあります。

また、外来療育事業として、通園前の乳幼児を対象とした、障害乳幼児相談支援事業(ぱんだクラブ・らっこクラブ)を毎月3回、ダウン症児の集団療育事業(ワイワイ教室)を2グループに分けて、毎月1回ずつ開催しています。

お問い合わせは、077-583-2125(療育部直通)まで。

